

思いめぐらす日

こころのぽけっと

原発事故による避難対応も、もはや8年目に入ろうとしています。この間、現状を記録しておかねばというこゝとで、村内外の方々によって、20冊近くの本や写真集が出版されているようです。その最たるものが、長泥行政出版し民報出版文化賞正賞を受賞した「もどれない故郷ながどろ」であります。一方で、復興を願って村の中で新しい歌が何曲か生まれたということもあります。小学生たちが、あちこちで歌ってくれている「ままでの Rond 時よめぐれ」があります。中学生たちには「ふるさと」の曲に4番の歌詞をつけて歌ってもらっています。「がんばっぺままでの村」や「飯館復興の桜」なども震災から立ち直りたいということでも生まれた曲でしょう。までい大使の黛まどかさんには、村の本来もつ四季のすばらしさを俳句であらわしてもらっています。災害に遭って失ったり、気づかされたことも多い訳ですが、このように災害によって生まれたものもあるということです。

失った最たるものは、毎日の普通の暮らしです。気づかされたことは、その平凡な毎日の生活がいかにありがたいものであったかでありましょう。

震災8年目に入るに至って、ここでもう一度失ったもの、生まれたもの、考えなければならぬことなどを、みんなでじっくり「考えてみる日」があってもいいのではないかと思うようになってきました。

間もなく、3月11日がやってきます。「思い」をめぐらす日にしてはどうでしょうか。

平成30年2月13日 飯館村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
手渡 雫月ちゃん	省吾・千春	前田・八和木
高野 遥人くん	弘之・裕美	大久保・外内
高橋 公陽くん	公仁・有希子	比曾

すくすくと元気に育ってね



ひとのうごき		1月1日～31日までの	
(平成30年1月31日現在)		◆◆人口動態◆◆	
人口	今月(前月比)	転入	2人
男	2925人 (-7)	転出	15人
女	2939人 (-9)	出生	4人
計	5864人 (-16)	死亡	7人
世帯数	1806戸 (+1)	(住民基本台帳人口)	

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 重義	85	二枚橋・須萱
菅野 ミヨ子	90	佐須
佐藤 ハル子	94	草野
池田 昭	74	蕨平
高橋 義正	78	比曾
長谷川 三代治	88	八木沢・芦原
北里 好邦	78	草野
小野 ツルヨ	95	蕨平

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとかたるものがたり 第12回 池田 サツキさん (大久保・外内)



震災前は専業農家。避難中は福島市内の公的宿舎に暮らしました。昨年から村内で季節の野菜を作り「生きがい農業」に精を出しています。

昨春から、村内で、「生きがい農業」に励んでいます。パセリ、ニラ、イチゴ、ネギ、ジャガイモ、キヤベツ、ブロッコリー、(中略)春菊、ゴーヤ、ナス、サツマイモ：(※まだまだ30種類以上ありました)、季節に合わせて、種をまいたり苗を買ったりして作りました。作った野菜は全て「いちばん館」で線量測定をしています。人にあげるものは、県のモニタリング検査にも出しています。最初は心配でしたよ。測って食べられなかったらどうしようかと、悩み悩みでした。けれど一度もそうしたことにはなりません。

避難した松川雇用促進住宅では、敷地の一角を耕し、何人かで畑を作りました。土の中に埋まっていたものを掘り起こして、きれいな畑にしたのです。ところがそこで畑はやれないと言われ、皆がっかり。その後は近くに畑を借り、昨年の3月まで使わせてもらいました。おかげで避難後に増えた体重も元に戻りました。家のリフォームがまだ続い

ています。昨年の暮れに、母屋に住めるようになるまでは、物置に仮住まいしてました。寒くてお湯も使えなくて、よく風邪もひかずにいたものです。野菜を作って食べているおかげで健康なのでしょう。食べるものは大事です。いたってホームに母がいますから、私もまだまだ元気でないかと思っています。

動かさないと体はだめになりますね。冬場は豆の選別をしたり、凍み大根を作ったり。体操もして、寒くても体を動かします。春になったらまた農業ができるように。

子どもの頃、両親が作っていた品数は、それほど多くなかったのですが、自分でやり方を考えながら農業を続けてきました。震災前は、今よりいろいろ作っていて、野菜は何も買わずにいられました。今はまだ一人で戻って来ますし、採って洗って測って選別して袋詰めして…というのは忙しいですから、まずはこの「生きがい農業」で頑張ろうと思っています。

おしえてくんちえ! 堀先生 心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 人間関係で、思い悩んでしまうことが多いのですが。

堀先生 人間関係で悩む人は少なくありません。最近、身近だと思っている人が自分から距離を取っているように感じることはありませんか。そんな時に、相手のことを「何てひどい奴だ」などと考えないようにしましょう。気持ちは分かりますが、そういう態度を表に出すと、状況を悪くすることが多いのです。自分の心の中に、「相手のことを頼りにしているけど、悔しいからそれを認めたくない」なんて気持ちはないでしょうか。恥ずかしいかもしれませんが、そういう部分への感謝や労いの気持ちを、声にして伝えてみましょう、きっと何かが変わってきます。



精神科医 堀 有伸 先生 ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで